奈良国立大学機構の経営方針

奈良から世界へ、古代から現代まで、
深い学びで、次代を拓く、
多様な人と文化の醸成拠点

ミッション

（国立大学法人が果たすべき社会的な役割）

○ 多様性を包摂し、互いを尊重し高め合う社会の構築に向けて、「社会をリードする女性人材の育成」と「次代を牽引する教員養成」を進める。
○ 文理統合的知性の涵養と高度な専門教育により、総合知を持つ人材を育成し、特色ある高度な学術研究を推進する。
○ 開かれた大学として、国際的な知の交流を推進するとともに、教育と研究を通じて、地域と社会に貢献する。

ビジョン

（国立大学法人の長が当該法人のミッションを踏まえて描く、国立大学法人の中長期的な方向性や目指す姿）

○ 奈良女子大学と奈良教育大学には、長年にわたり幅広い学問領域をカバーしながら、独自の教育と研究を進めてきた実績があり、こうした両大学が掲げてきた理念に基づいて大学運営に取り組む。その上で、
① 両大学の規模が学際的な対話の推進に適していることを活かして、分野・組織の壁を越えた文理統合的視点の涵養と高度な専門教育を進める。
② 奈良の豊富な文化資源の活用と多様な学術機関・自治体・産業界等との組織的な連携の構築、さらに、国際的な交流と研究の強化を通じて、奈良の魅力や強みを活かす学びと研究を実現する。
これらを通じて、学生と教職員が、地域や社会の多様な人々とともに、学び合い、支え合い、高め合う組織を形成する。

奈良国立大学機構の経営方針

	目　標 ミッションを踏まえて法人の長が描くビジョンを実現するため、具体的に達成を目指す水準。	戦　略 目標を達成するために推進すべき計画・方策。
教育･研究	今日的課題に応え、未来を拓く人材育成の基盤づくり	・学問の面白さと奥深さを感じることができる「学問祭」の開催。 ・両大学による講義「奈良と教育」や科学史などの歴史に関する学修の充実。 ・すべての学生が、数理・情報・データサイエンスやＡＩの基礎的なスキルを修得。
	教育研究資源の共有による学びと研究の質の向上	・両大学を通じた教養教育や教員養成等に関する連携の推進。 ・両大学の教員・研究者による分野・組織を越えた協働体制の構築。 ・両大学のそれぞれの特長を活かした大学院教育の連携の構築。 ・研究機器の共同利用とその活用知識の共有を通じた研究資源の有効活用。
	時代の要請に応える教育研究の体制強化	・若手研究者、女性研究者・教員の採用など多様性ある組織の形成。 ・教育研究の継続性に配慮しつつ、時代の要請に応える教育研究組織の不断の見直し。 ・国際的な共同研究の推進。
地域連携と国際化･国際連携	地域の文化・学術、自治体、産業界等との教育研究資源の互恵的活用	・地域の自治体・産業界等との組織的な連携を構築し、人材の養成と輩出、地域の課題解決に貢献。 ・「奈良カレッジズ」を通じて、地域の豊かな文化・学術資源を教育研究に活用。 ・「異分野交流プロジェクトNU cross」により、自治体や産業界等との連携推進。
	国際交流と地域活性化をつなげる「国際キャンパス奈良」の形成	・両大学がグローバルな視点で教育研究と大学運営を進めるための体制構築。 ・留学生の受入・派遣の推進と国際交流の推進。 ・すべての学生を対象とする国際交流体験プログラムを通じた国際理解・異文化理解の推進。
附属学校園	附属学校園の魅力向上と特色化	・各学校園のミッション・ビジョンの明確化。学校園間の連携とその成果の公表。 ・教育大の附属幼稚園の「こども園化」と幼小中を一体でとらえる構想の推進。女子大の附属学校園は「自由」と「協働」の学びを特色とする教育法の発展。
ガバナンス	ガバナンス強化	・事務局の一本化、迅速な業務処理と意思決定のため情報インフラの統一化。 ・経営戦略の推進のためＩＲ機能の強化と、職員の働き方改革の推進。
	多様な外部人材と外部資金の戦略的確保	・アドバイザリーボードによる助言や、「友の会」の設立による開かれた大学運営。 ・外部資金受入増加のためのファンドレイジング強化。

奈良女子大学の基本理念と教育・研究目標

【基本理念】

理念１　男女共同参画社会をリードする人材の育成　－女性の能力発現をはかり情報発信する大学へ－

理念２　教養教育、基礎教育の充実と専門教育の高度化

理念３　高度な基礎研究と学際研究の追究

理念４　開かれた大学　－国際交流の推進と地域・社会への貢献－

【教育目標】

本学は、学生個々の適性・能力を最大限に引き出し、深い学識を備え、情緒豊かで品位ある人材を育成する。また、さまざまな事象を総合的に理解・判断した上で、目的意識をもって主体的に行動し、社会をリードする人材を育成する。

目標１　人間性を涵養する教育

質の高い教養教育を行うことにより、幅広い教養と豊かな人間性を備えた人材を育成する。

目標２　創造性を生み出す教育

各専門分野間で連携のとれた教育を行うことにより、深い専門性を身につけた創造性豊かな人材を育成する。

目標３　専門性を深める大学院教育

女性が能力を発現しやすい環境の下で高度な専門教育を行い、創造的能力を備えた高度専門職業人及び研究者を育成する。

目標４　社会で貢献できる人材を育成する教育

１）男女共同参画社会の実現に貢献できる人材を育成する。

２）アジア諸国をはじめとする国際社会及び地域社会に貢献できる人材を育成する。

【研究目標】

本学は、学問研究の自由のもとに真理を探究し、長期的視点に立った研究を通じて社会・文化の発展に寄与することを目指す。研究活動を通じて生み出した知的成果をもとに、知の拠点を形成するとともに、その知的成果を社会に向かって発信する。

目標１　個性的で独創性豊かな研究の推進

深い洞察に基づく個性的で独創性豊かな研究を推進する。

目標２　基礎研究及び応用研究の推進

高度な基礎研究および社会や時代的要請にこたえる応用研究を推進する。

目標３　学際的研究の展開

各専門分野間の連携に基づき、複雑で重要な諸課題に対する学際的研究を展開する。

目標４　地域社会や国際交流を視野に入れた研究の推進

異なる研究分野間の協力のもとで、地域や国際社会に貢献できる研究を推進する。

令和８（2026）年４月１日制定

2035年に向けた奈良教育大学のビジョン・ミッション・目標・主たる取組　ver.1.0

◆ ビジョン

多様な人々に学びの機会を提供し、教育によって地域創生や持続可能な社会創造に貢献する大学

奈良教育大学は、教育学、人文・社会科学、数理・自然科学、芸術、スポーツ科学等の研究を基に、同一法人である奈良女子大学、他の学術機関、自治体、産業界等と協働し、１.新人教員の養成・輩出、２.現職教員・学校教育の支援、３.教育による地域・社会貢献、を果たします。そのために、子供や学生のみならず多様な人々に質の高い学びの機会を提供し、地域はもちろん我が国や世界が教育によって持続可能な未来社会となるよう挑戦していきます。

◆ 教学におけるミッション・目標・主たる取組

ミッション	目 標		主たる取組	
1.【新人教員の養成・輩出】 教育によって未来社会を創造する強い意志と使命感を持ち、学校現場の諸課題に対応できる高度な実践力と専門性、及び奈良教育大学の特色によって培う強みを備え、時代を拓き社会を牽引する新人教員を養成し輩出します。	1-1	教育によって社会に貢献する使命感、新たな教育や学術文化を創造する意欲と実行力の涵養	1-1-1	教育的・学術的探究活動やフィールドワークを通じた「意欲」と「使命感」の涵養
			1-1-2	地域課題解決への参画促進による社会貢献のための「実行力」の育成
			1-1-3	「使命感」「意欲」「実行力」を育成するキャリア支援プログラムの実施
	1-2	基礎・教養、教育に関わる専門性、研究力と、文理を融合した統合知、学際性、国際性の育成	1-2-1	奈良カレッジズ諸機関等との協働による基礎・教養、文理を横断した統合知の育成
			1-2-2	学部はR8、大学院はR10カリキュラムによる専門性と研究力の育成
			1-2-3	留学、留学生との交流、ESDユースネットワーク交流等による国際的視野・対話力の育成
	1-3	奈良教育大学の強みや特色を生かした課題解決型実践力と「持続可能な社会の創り手」を育成できる実践的力量の育成	1-3-1	奈良の歴史・伝統文化、ESD等を横断する教育コンテンツの提供による実践的力量の形成
			1-3-2	自然科学・科学技術にとどまらず、応用科学・社会科学・人文科学・芸術などを含む科学の素養の育成
			1-3-3	「奈良県教育課題プログラム」「奈良教育大学特色プログラム」の実施（※１）
2.【現職教員・学校教育の支援】 教育委員会・学校現場・国内外の教育研究機関との協働を通じて、現職教員の高度な実践力・研究力を育成するとともに、学校が抱える課題の解決を先導し、地域の教育力の向上と持続可能な学校教育の構築に貢献します。	2-1	現職教員の資質向上と学び直しを牽引する「高度教員研修拠点」の構築と学校教育支援	2-1-1	教育委員会・学校現場・現職教員の研修ニーズに対応し、地域の固有課題や実情に即したオーダーメイド型講座や連携研修の実施
			2-1-2	いじめや不登校、AI利活用を含む学校DX、文理分断等、現代的教育課題の解決に向けた学校支援
			2-1-3	全国の現職教員を対象に、「ESDティーチャープログラム」「ESD国内コンソーシアム」「ESD国際パートナーシップ」等による質の高いESD実践力の育成（※２）
			2-1-4	オンライン・オンデマンドの活用による全国からの現職教員受入等、大学院における高度教員研修機能の強化
	2-2	現職教員や学校の研究力の高度化と、実践研究に基づく現代的教育課題の解決及びそのモデル創出	2-2-1	学校現場との協働による「校内研究」の高度化支援と、組織的な授業改善・学校改革の推進
			2-2-2	現職・附属教員との共同研究を通じた、現代的教育課題の解決策および「次世代教育モデル」の創出
			2-2-3	大学院における、学校現場の課題解決に直結する高度な「実践研究力」育成の充実
3.【教育による地域・社会貢献】 本学が有する学術の知見を広く社会へ還流し、多様な人々の学びとキャリア形成を支えるとともに、地域や産業界と連携して、教育の力で地域課題の解決と持続可能な社会の創造に貢献します。	3-1	教育についての学びを生かして地域創生や持続可能な社会創造に貢献できる人材の育成	3-1-1	教育についての学びを地域創生や持続可能な社会創造に活かす学修の推進とキャリア支援
			3-1-2	企業や自治体等における人材開発・組織マネジメント・SDGsの推進等を牽引する、社会人のための「高度リカレント・リスキリング教育」の推進
	3-2	地域、及び国内外におけるコミュニティと協働し、教育資源を活用した地域創生や持続可能な社会創造の推進	3-2-1	「なら産地学官連携プラットフォーム」諸機関とともに、教育による地域創生や社会創造の推進（※３）
			3-2-2	「親性育成プログラム」の構築・実践による少子化対策の推進（※４）
			3-2-3	学生による地域課題解決・持続可能なまちづくり・過疎地域支援等の推進

※１

「奈良県教育課題プログラム」： へき地教育や不登校支援など、奈良県の喫緊の課題に関する専門的力量を身に付けるためのプログラムであり、山間地教育入門の　履修を含む「へき地教育・地域創生」、不登校支援奈良県公設フリースクールでの活動を含む「学校フィールド実践」が設定されている。

「奈良教育大学特色プログラム」： ESD、理数教育、特別支援教育など本学の特色（強み）を生かした専門的力量を身に付けるためのプログラムであり、「新理数スーパー・サイエンス・ティーチャー（SST）」「新理数スーパー・サイエンス・ティーチャー・ベーシック（SSTベーシック）」「実践的特別支援教育」「ESDプログラム（ESDティーチャー）」「スクールサポーター（１級・２級）」「文化遺産教育」が設定されている。

※２

「ESDティーチャープログラム」： ESD（持続可能な開発ための教育）についての理論と実践力を兼ね備え、「持続可能な社会の創り手」を育成できる指導者を養成するための研修プログラム。ESDティーチャー、ESDマスター、ESDスペシャリストの３段階で認証する。

「ESD国内コンソーシアム」： 持続可能な社会の実現に向けて、全国各地でESDに取り組むコンソーシアムや全国レベルでESDを推進する多様なステークホルダーが参画・協働するESDの重層的なネットワーク。

「ESD国際パートナーシップ」： 持続可能な世界の実現（SDGs）をめざし、各国の研究者や教育者、ユース等が、国境と分野、世代を越えて地球的課題の解決のために連携・協働するESDの国際的パートナーシップ。

※３

「なら産地学官連携プラットフォーム」： 奈良県内の産業界、地域・住民、高等教育機関、地方公共団体等が連携・協働し、新たな価値を生み出す基盤として、2023年11月16日に設立した。奈良国立大学 機構の「奈良カレッジズ連携推進センター」がコーディネートしている。

※４

「親性育成プログラム」：「親性」とは子供への共感性や反応性のことで、乳幼児と接する機会を持つことによって準備される。妊娠期や親だけでなく、中高生も含めた 社会全体で育成するための教育プログラム。